

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

かわら版

かわら版

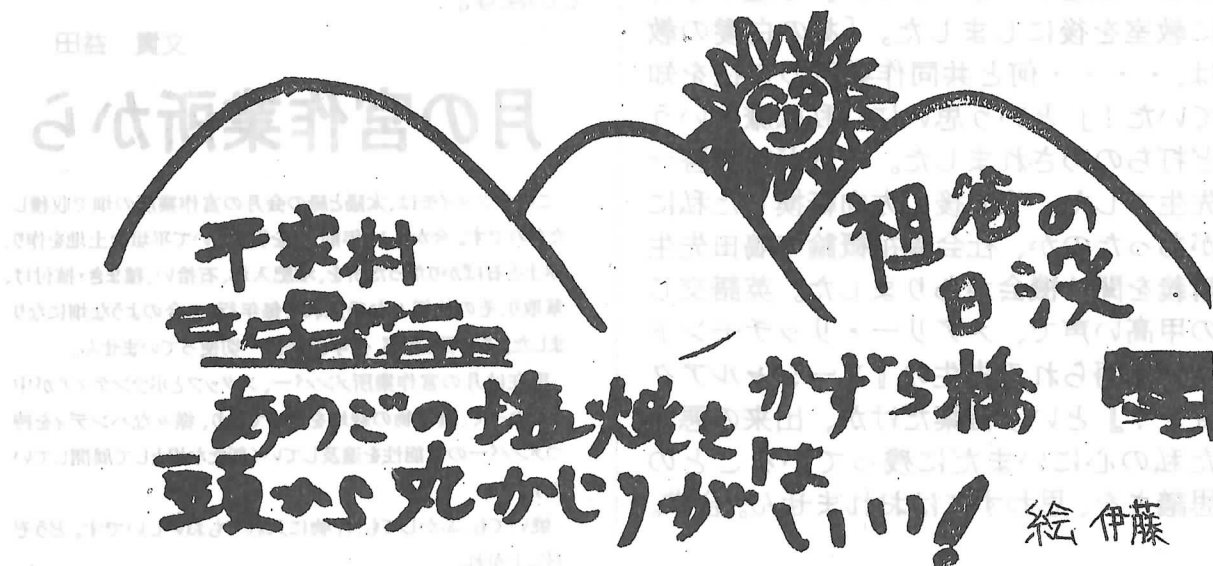
巻頭コラム 杉浦 良／お知らせ
投稿コーナー 田所 健太郎
体験ボランティア2003 協力者名簿
メンバー投稿欄 編集後記

2003 10 NO 102

巻頭コラム (杉浦 良)

新聞に嶋田啓一郎先生の訃報が報じられました。私が学生時代にモラトリアムをむさぼるごとく、自分の進むべき道を探しあぐねていた頃、ひよんなことから、社会福祉学専攻のゼミの教室でお見かけしたのが、最初でした。1970年初め、滋賀県にあらく共同作業所、にっこり共同作業所、ねっこ共同作業所といった、公的資金がほとんど投入されていない、ハンディーを持ったメンバー達のための無認可(法定外)作業所が少しずつ造られました。「地域の中で」「ともに働く」「障害種別を越えて」「隔離収容を解き放ち」というようなキャッチフレーズを掲げ所に、厳しい現実の中で、捨て身で働く人達の手で成り立っているような状況がありました。妙なきっかけで、その中のにっこり共同作業所に関わることとなり、そこで作られた便箋や封筒、手染め和紙といった品物を売って歩くことになりました。年賀状の印刷も作業として行っ

ており、活字を一つ一つピンセットで拾いながら枠に収めて原版をつくり、手押しの印刷機で一枚一枚葉書を載せ、刷り上げていくというものでした。様々なハンディーを持ったメンバーが、トタン張りの小さな作業所に、乳母車や車椅子で通ってきました。脳性小児麻痺のメンバー、知的ハンディーのメンバー、全盲のメンバー、背骨が強度に変形したメンバーなど、個性豊かな面々が、やれる作業をせっせとやっていました。1977年当時、目いっぱい働いても代表の方の給料が月5万円、専任スタッフの方が月3万円という条件は、生活自体がなかなか成り立たないだろうと未熟な私でも判りました。子供を4人抱えながらも奥さんが看護婦として働くことで、代表者の家庭が成り立っていることを後から知りました。専任スタッフの方は月3千円の雨漏りするあばら屋でひとり暮らしておられました。多分、他の生き方をすれば、この



ような状況からすぐさま抜けられることは充分判っているだろうに、あえてこのような道を辿る意味を、頭で判ったとしても、実感するだけの私はありませんでした。ただ何かモヤモヤとした漠とした気持ち私の内面を塞ぎ込んで、時々苦しくなりました。大学のキャンパスに立つと、次元空間に迷い込んだような錯覚にとらわれ、華やかにそこを闊歩する学生たちに違和感を覚えるとともに、自分の居場所を見失いそうでした。にっこり共同作業所の便箋や封筒や手染め和紙を携え、多分無理とは判っていても、訪ねずにはおれなかった社会福祉学専攻のゼミの一室がそこにありました。

「講義中申し訳ありませんが、少しだけ時間をいただけないでしょうか？・・・滋賀県で厳しい中で運営されている、ハンディーを持ったメンバー達が働く共同作業所の製品を買っていただけないでしょうか？」私は何か振り切るように話しました。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・話し終えると同時に「いま彼が話したように、公的助成金もほとんどない、無認可の共同作業所が、現実に活動しています。運営も本当に厳しいですから、これらの製品が必要な諸君は、ぜひとも協力してください。」ネクタイと背広姿の白髪の先生が、そう付け加えました。10人ほどの学生が品物を買ってくれました。私はお金を受け取ると「有難うございました」と逃げるように教室を後にしました。「あの白髪の教授は、・・・・何と共同作業所の存在を知っていた！」という思いに、私は嫌というほど打ちのめされました。それが嶋田啓一郎先生でした。その後、方向転換した私に縁があったのか、社会福祉概論で嶋田先生の講義を聞く機会がありました。英語交じりの甲高い声で、メアリー・リッチモンドについて語られる先生の『ソーシャルアクション！』という言葉だけが、出来の悪かった私の心にいまだに残っていることのも不思議さを、思わずにはおれません。合掌。



27年ほど前のにっこり共同作業所の便箋に書かれたイラスト

月の宮作業所報告

秋は実りの季節で、苗植えをしたサツマイモも大きくなり、去年とくらべても大きすぎず、小さすぎずおいしそうなサツマイモが収穫できました。

みんなが楽しみにしているバザーも、今年は色々に参加させていただいたおかげで、たくさんの人にサツマイモを買っていただくことができました。

今までは野菜を育てていくことにはみんなで作業できていたものの、実際にそれを販売する場にいる機会が少なかったので、自分が作ったものを買っていただける場面をみんなが自分の目で見ることができたことで、みんなが作業に取り組む意識が違ってきたと感じています。

文責 益田

月の宮作業所から

このサツマイモは、太陽と緑の会月の宮作業所の畑で収穫したものです。今から11年前、山を切り開いて平坦な土地を作り、赤土と石ばかりだった所を、堆肥入れ、石拾い、種まき・植付け、草取り、その他様々な手入れを毎年行い、今のような畑になりました。その間、農薬、化学肥料は一切使っていません。

現在は月の宮作業所メンバー、スタッフとボランティアが中心となって、農作物の栽培を行っており、様々なハンディーを持つメンバーの可能性を追究していく新たな場として展開しています。

焼いても、ふかしても、汁物に入れてもおいしいです。どうぞ召し上がれ。

お知らせ

ボランティア参加

●今年の夏開催した体験ボランティア 2003. の参加者、京都の松浦さん、徳島の川原さんが 10 月 12 日に来所、太陽と緑の会でのリサイクル活動に参加してくれました。夕方には徳島の森本さんも姿を見せ、2 カ月ぶり再会となりました。久しぶりにワーカーさんと会えて、メンバーは大喜びの一日でした。翌日、小雨模様の中、松浦さん、川原さん、森本さんは思う存分サツマイモ掘りをして帰りました。お疲れ様でした。

●今年の 7 月から 8 月にかけて体験実習ボランティアとして活動に参加して下さった健康会専門学校の学生さん 4 名が、10 月 18 日、ボランティアとして活動に参加、不用品の回収活動などで活躍してくれました。

イベント

●10 月 13 日、障害者地域共同作業所きのこハウスにて「第 2 回きのこまつり」が開催。太陽と緑の会月の宮作業所を含め、5 つの作業所が共同出店しました。月の宮作業所で撮れた鳴門金時（サツマイモ）やリサイクル自転車などを販売しました。スタッフの益田君、メンバーの太田君、小倉君が参加。

●10 月 18 日、19 日、第 16 回全国健康福祉祭徳島大会「ねんりんピック徳島 2003」が開催。その一環として藍場浜公園で行われた障害者福祉展に、太陽と緑の会月の宮作

業所も出店、作業所で育てた無農薬のサツマイモ、柿、リユース品の雑貨類などを販売しました。

2 日間とも好天に恵まれました。サツマイモは、ボランティアの川原さん、松浦さん、森本さんが掘って下さったものを袋詰めにして 100 グラム 20 円で販売しましたが、2 日間とも完売しました。

参加したメンバーも手応えを感じているようでした。参加メンバーは 10 月 18 日 浅野さん、高橋君、太田君、スタッフ益田、10 月 19 日 太田君、スタッフ益田

会議

●10 月 15 日午後 1 時 30 分より第 1 回徳島市障害者計画策定懇談会が徳島市役所で開催されました。関係機関の福祉関係者らが出席。当会から代表の杉浦が出席

●10 月 23 日午後 1 時 30 分より徳島県民環境会議開催。専任職員白石出席

●NPO フォーラム実行委員会

9 月 21 日午後 1 時半～4 時半 徳島大学教育棟 5 階 専任職員の木村が参加

10 月 13 日午後 1 時半～4 時半 徳島大学教育棟 5 階 専任職員の木村が参加

臨時休業のお知らせ

11 月 8 日、9 日の両日は、徳島県障害者地域共同作業所交流会、及び太陽と緑の会の研修旅行のため、臨時休業とさせていただきます。

一般市民の皆様方にはご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願い致します。

今後の予定

11 月 8 日 障害者地域共同作業所交流会 相生町にて開催

11 月 8 日～9 日 太陽と緑の会リサイクル作業所及び月の宮作業所 研修旅行

11 月 8 日～9 日 第 3 回とくしま NPO フォーラム開催 8 日の分科会に専任職員の小山が事例報告者として出席

11 月 15 日 障害者地域共同作業所ほっとハウスのお祭りに出展

11 月 20 日 代表の杉浦が城北高校（徳島市）にて太陽と緑の会の活動について講演

11 月 22 日 人権フェスティバルに出店 徳島市内の藍場浜公園にて開催。無農薬野菜、リサイクル品を販売。

11 月 30 日 第 2 回四国 NPO フォーラムが高知で開催 専任職員の小山 事例報告者として出席

11 月下旬 太陽と緑の会福祉事業団による助成実施

12 月 7 日、13 日、14 日 小中学生の体験ボランティア受入予定 各回 5 名ずつ

12 月下旬 機関誌 103 号発行予定

12 月 29 日～1 月 4 日 冬期休業

近藤先生を偲ぶ

NPO法人太陽と緑の会 理事

田所健太郎

小学校に行った時は大変な世界に出て行ったような気がした。歩いて5、6分の所に学校は有ったけれど、遊び仲間は家の周辺の5、6軒の家の子供達だったので50人位のクラスに入っていくと知らない子供達ばかりでビクビクしていた印象が非常に強い。

小学校の時では庭の草取りを道具も何も無しで、手でよくやらされた事を覚えている。「いやだなあ。」と思っていたけれど、そこでふと思いついたのが、「草取り自体はつまらない事だけれど、一つこれに対決してみよう。」という気になったのを覚えている。4年生位の事で「逃げてもしようがないので取り組んでみよう。」と思ってやった事が妙に記憶に残っている。

がき大将ではなしに、尻にくっついて行く方で、何か特別扱いされていた。医者の子息という事で、あまりいじめたらいかんという事で、他の子よりはちょっと丁寧に扱ってくれた。がき大将が。そういう感じだった。けんかはしないし、殴り合いは勿論した事もない。

隣の3つ位上の子と学校にいくのだけど、途中に1銭出して橋を渡る（土地の者は無料だが）その橋に橋番が居てそこでパンを売っている。そのパンを隣の子がいつも朝5銭出して買い、それを割って分けてくれた。「うまいなあ。」と思って食べた。パンを買って食べるような小遣いは祭りの時は多少くれたけど平常はくれなかった。皆そうであったように暮らしは極めて質素だった。食べ物に秋になればみかんが実り、柿が実り、柿の木に登って熟した実を食べた。熟しの味は子供の時から染み付

いていた。甘党だったね。

極めて自然の中で野生のままで育って行った。

花は小学校の時から作っていた。瓦で色々な形を作ってその中に花を植えて、来年はどうしてやろう。その次はどうしようと考えてやっていた。

家庭では母親とは小学生の頃までは密接な関係であった。あまり記憶に無いけれど、姉達から聞くと大事にされていたと言う。母親が元気だった頃は会話が合った。

父親からは、「小さい時貧乏して苦労して医者になった。」と言う事を繰り返しくり返し聞いていた。小さい時から染み付いて来て「親父って偉いんだなあ。」と言う尊敬心が有ったし「親を大切にしなければいけないなあ。」と言う気持ちが有った。そう言う点で親父は一方的であったかも知れないけれどよく話をしたね。

使いを命じられたが、恥ずかしいし雨が降っていたし行くのをためらった時にひどく叱られてみじめな思いをした事が記憶にある。その頃の自分の感想は非常に狭い所で住んでいた関係で、知らない所へ行く事は大変な事みたいに思っただけで赤面恐怖のような所も有ったし、非常に気は小さかった。」

(以下次号) 田所記

近藤文雄氏の横顔

大正5年(1916)年徳島市生まれ。九州帝国大学医学部卒業。東京大学医学部整形外科入局。国立玉浦療養所長、東北大学医学部助教授を経て、昭和35年国立西多賀療養所長になる。筋ジストロフィー患者収容開始(全国初)。昭和45年国立療養所を辞し、筋ジストロフィー研究所設立運動を開始。徳島にて近藤整形外科医院を開業。昭和46年太陽と緑の会(任意団体)設立。昭和48年国会請願、首相陳情。昭和53年神経センターが東京に創設される。昭和54年より徳島県心身障害者福祉会理事長を務め、平成10年3月11日寂。

体験ボランティア 2003 参加者の声

8月21日(木)～8月26日(火)に渡り「体験ボランティア2003」を行いました。名古屋、京都、徳島から、20代から50代(!)までの計4名の方々(以下7-カ)が、当会の様々なハンディを持ったメンバーと共に、無農薬農作業 リサイクル活動、そして月の宮生活棟での生態系にやさしい生活を体験しました。

前回に引き続き、今回は実際参加して下さった方の感想を載せたいと思います。

「あつという間の六日間でした。太陽と緑の会は参加前の想像通り、とても魅力的なところでした。いろんな方から話がきけたことがよかったです。こうでありたい自分と今の自分とのギャップがちょっとしんどかったのですが、「まだまだこれから」という前向きな気持ちになれました。大学時代にきていればまた何か違っていただかなあとも思います。」

なんとなく自分の中できっかけをつくりたくて参加したので、福祉や環境については多少の興味はあったとはいえ、それほど身近な世界ではなかった中で、中の様子を知って、自分にもできることがあればいいなあ、位の気持ちだったのですが、いい経験になりました。自分の出したゴミに責任を持つこと。ゴミを無駄にしないこと。私にできるエコライフ目指してがんばりたいです。福祉については・私は人と話すとき構えてしまうところがあってハンディを持っている持っていないにかかわらず、初対面の人と話すということは緊張する事があったので、余裕がないまま6日間が過ぎてしまったという感じです。みんな自分にできることをきっちりやっているという印象を持ちました。うまく接する事が出来たのかわからないのですが、私は楽しい思いばかりさせてもらいました。ほんとに感謝しています。」

(20代女性)

月の宮ワーク(無農薬農業)について

「自然循環システムで面倒ではありますが、安心できますね。実際の農作業は初めてでもあり猛暑の中過酷でした。でも作業後はさすがし

い気持ちになりました。】

リサイクルワークについて

「私の不用品を君の用品にリサイクルをやってみたいと思いながらバザーに出品する程度で実行できないものです。そのボランティアに参加出来てよかったと思いました。」

(50代女性)

「太陽と緑の会は不思議なところですよ。マジックは結局解けませんでした。でも最近「太陽と緑の国」があればいいなと思います。共働(同)生活が成り立っている優しい国です。そんな国に日本が世界が変わるためには一人一人がしっかりした大人にならなければなりません。あるボランティアの方が(大切なものは数や量じゃない)と言っていました。この言葉に、ハツとホツとさせられました。大切な物を見失わないように生きていきたいと改めて思います。国が変わる前にまず自分一人一人が変わらなければ始まりません。その時何カリスクがあっても大切な物を求めてきた杉浦さん((NPO)太陽と緑の会代表)を始め皆さんを見習いたいと思います。」

(20代女性)



太陽と緑の会の活動を支えて下さっている皆様

§ 2003年9月1日～10月31日 § (紙面の都合上、敬称は省略させていただきます)

不用品を持ち込んで下さった方々

◎徳島市◎ナガサキ屋、高松、森本、大槻、谷川、工藤、長尾、佐々木、大西、久次米、陳、佐藤、山元、鎌田、後藤、岩本、新畑、泉、滝山、蔵本、藤川、板東、市川、金沢ガラス、樋田、後藤田、平井、角宮、藤谷、安井、土井、大上、藤川、多田、井上、美馬、佐野、姫野、吉岡、片岡、清水、藤川、河野、四電エンジニアリング(徳島支店)、井上、滝山、浜野、木室、宇野、勝田、高木、花岡、庄野、中西、原田、竹内、福本、藤川、笠谷、庄野、川原、加藤、佐野、藤田、熊谷、菊地、井上、長崎、中津、蔵本、川崎、尾方、佐藤、森、ナガサキ屋、湯浅、桂、四国大学付属幼稚園、松浦、松田、濱口、藤川、安田、野々瀬、西山、山下、中川、明丸、森本、滝山、松久保、湯浅、吉岡、井川、内村、東條、宮崎、三好、岸田、黒田、細井、伊藤、小池、佐藤、松田、竹本、大西、久米川、日野、伊原、山橋、中川、勝田、名田、吉村、佐藤、森本、滝山、杉原、天満、榎本、長崎、大道、三星、リビング東和、三好、上田、犬伏、佐々木、上田、山田、武田、原田、久次米、後藤、片山、鴻池、佐藤、中園、多田、宇治、安崎、関本、森永、知賀、アカマツ(株)、矢本、作田、柏原、島田、坂口、鈴江、滝山、高橋、三好、佐野、浅野、後藤、児玉、近藤、早淵、滝山、板東、宮城、熊谷、佐々木、中村、日下、矢野、STKホンダ売服有K、吉岡、佐藤、大内、鈴江、前田、滝山、井上、小西、佐藤、和田、森宮、坂東、林、柏谷、原田、西林、安宅、大磯、高橋、武田、賀川、田村、杉本、日下、山本、竹内、宇治、佐藤、熊谷、丸山、田中、豊田、三木田、伊原、池村、柿原、国府養護学校PTA、滝山、井内、大村、二宮、三木、高井、大和、北野、山口、賀川、山本、坂東、森本、笠井、高橋、花本、徳島工芸、泊、佐々木、木村、谷、中村、井口、加堂、伊勢谷、森本、ケアハウスあすか徳野、松本、小倉、北橋、陽地、秋田、竹内、宮本、山西、坂口、高橋、久次米、明丸、田中、河村、関本、四宮、林、杉本、畠、高見、福永、賀川、宇本、高橋、椎崎、山本、北井、ケアハウス田園、宮下、磯口、正城、墨田、板東、川田、富永、東口、米沢、真木野、青山、森本、篠原、井出、川西、吉川、篠原、花本、谷口、松倉、松本、山根、中山、佐藤、中園、伊達、杉内、伊藤、天野、杉内、河野医科器械(株)、長尾、(有)光和商会、竹中、蔵本、魚井、岡崎、長尾、加藤、滝山、木下、木藤、真淵、安宅、松家、後藤、山田、北井、坂口、林、森、上田、小林、高木、岡松、伊藤、板東、川染、名田、四宮、中山、野良、吉田、北橋、富田、村田、近江、足立、清水、篠原、中村、瀬尾、井上、二宮、三木田、伊勢、石川、村上、乾、麻植、香川、松浦、三木、杉浦、杉の子作業所、吉村、田中、永浜、鎌田、魚井、行重、武田

◎鳴門市◎植松、中、野村、中筋、白鯛、藤川、花岡、藤川、福永◎小松島市◎宮田、服部◎阿南市◎保田、伊藤、佐野、中道◎石井町◎(有)徳島チャイルド社、柴田、酒井、島野、西村、小西、松本、香川、藤本、富山、千田、鹿児島、田原、陽地、香川、先田、清重、井上、青山、高橋、香川、清重、高橋、今井、坂口、西村、大栗、秋山、中東、竹内、田中◎鳴島町◎後藤田、宗本、迎、早見、工藤、弥吉、島田、福田◎藍住町◎増原、井上、山本、別所、産田、川口、橋本、川端、福本、黒坂、山下、井上、佐野、鳥取、牛島家具、土井、西野、林、湯浅、木内、中川◎北島町◎阿部、安倍、岩木、宗教真光北島連絡所、橋本、北野、大島、相原、橋田、千歳◎板野町◎扶川、森川、芥川、村田、鴻池、新田、加藤

◎上板町◎中山、小川、松井、瀬尾、中山、河野、江戸◎羽ノ浦町◎富士原、加藤、佐藤◎土成町◎尾田◎阿波町◎藤原、渡邊、麻野◎神山町◎天野、大革◎美郷村◎加本◎貞光町◎坂口◎名東郡◎荒河◎佐那河内村◎井上◎山川町◎藤田、井内、米多比◎脇町◎中川◎松茂町◎眞重◎市場町◎大山、中村◎勝浦町◎溝田、片山◎香川県◎三谷、森永◎小樽市◎樋詰◎横浜市◎宇山◎朝霞市◎本田◎坂出市◎横田◎加古川市◎小山◎京都市◎井上、木村◎杉並区◎榎原

不用品を回収させて頂いた

◎徳島市◎高尾、増田、上田、宮本、山口、リバレイマンション、渡辺、勝田、浜田、岡山、佐藤、清水、ユートピア八幡商店、(株)アートネイチャー徳島店、大野、東船場、矢本、板東、泉、徳島カラー、トラスト、田中、佐藤、浅川、吉永、山田、早沢、椎野、横山、長岡、青木、広岡、豊田内科、羽丹、フォト原田、小原、高井、赤星、熊野、西条産婦人科、前田、城西病院、末広ボール、寺内、能力開発センター、小出、浜田、庄野、佐古、笹尾、高見、成瀬、田口、中山肉屋店、パソキュー、坂口、吉川、金沢ガラス、森、田中、板東、玉置、江戸、平田、源、上田、加藤、藤田、山田、川島、田村、佐光、矢部、森、籠屋町ハートランドあつぷる、米田、前川、後藤、桜井、秋田、丸山商店、浅野、吉田、尾方、井出、成田、武田、岡田、中村学習教室、宮本、井端、板東、松浦、小西、小倉、青木、森田、宮本、洋菓子リベルテ、佐藤、藤井、秋山、佐野、増川、田中、嶋島、杉山、江本、安藤、斎藤、小野、澤田、大井、谷田、藤井、木戸、胡田、杉井、梅田、山田、上田、東條、庄屋、大櫛、片山、笹本、漆原、斎藤、薩摩、鮎合、岩佐、野川、高橋、藤本、日和田、リバレイマンション勝占、宝厨商事、森、矢本、紙井、土肥、山下、森、北島、富永、川下、(株)ダイテック、西久保、(有)デザイン社、石川、板東、渡辺、酒井、高橋、平尾アキ理容店、小林、坂口、尾山、佐光クリニック、楠本、ダイテック、平岡、渡辺、吉田、吉崎、末広ボール、Dコム、松田、前川、山口、谷、高瀬、川下、西條産婦人科、藤沢、井上書房、中川、粟田、油谷、後藤田、デザイン社、久保、二葉、木本、西平、長瀬、南、大津、近藤、久保、讃岐、高橋、橋、山本、前田、丸若、野田、佐藤、漆原、伊達、高橋、森西、佐藤内科、月華堂、田村、鮎合、植田、中嶋、小松、西岡、吉永、福山、松本、土井、平田、小林、吉野、浅井、朝井、林、大田、大野、市川、大杉、太田、前川、曾我部、橋本、板東塗

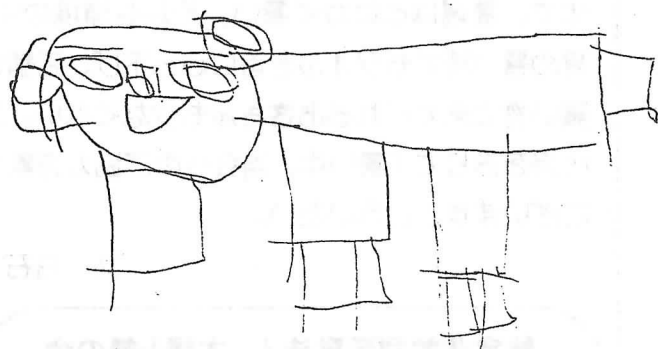
装店、佐野、トラスト、金沢、占崎、東倉、森、小川、沢田、上田井、粟谷、武田、徳島工芸、吉田、中尾、山本、湯浅、パソQ、原、桑村、藤永、稲垣、都筑、岡松、井上調剤薬局、清杭、金野、上村、真鍋、安喜、北島田児童館、ユートピア八幡、田中、板東、松浦、粟飯原、豊田、後藤田、正城、大霜、岡松、西村、小泉、南翠園、岩野、安藤、松浦、斉藤、佐々木、廣住、岡松、佐藤、大林、寺内、菅原、林、高橋、かの山◎石井町◎小室、勝瀬、久米、成清、武富、河野、吉田、新田、三木、中川、吉本、矢田、志摩、吉本、友成、矢田、吉岡◎鴨島町◎井原、武田、鈴木、松本、島田◎山川町◎大坪◎板野町◎松田、林◎上板町◎河野、山田◎藍住町◎佐々木、板東、吉本、佐々木、井上、山本、村永、近藤、岡田、河野、山口◎北島町◎大北、結城◎松茂町◎三栖、上田◎応神町◎妹尾◎鳴門市◎長狭湖、大鵬薬品、古川、川井、久龍、安藤◎小松島市◎花谷、田中

・寄付して下さった方々

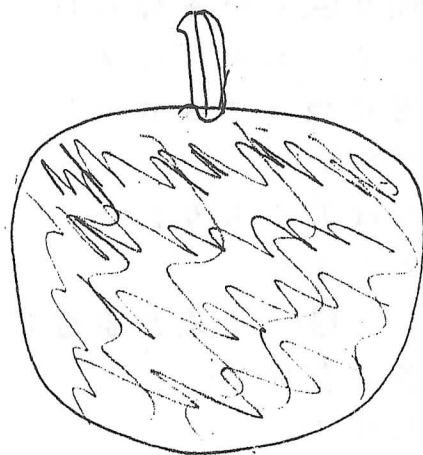
◎徳島市◎加藤¥1000、笹本¥5000、ダイテック¥550、藤沢¥2000、吉野¥3000、林¥3000、松尾¥1000、大石¥2000、ブティックエリ¥720

以上の方々、ご協力ありがとうございました。

メンバー投稿コーナー

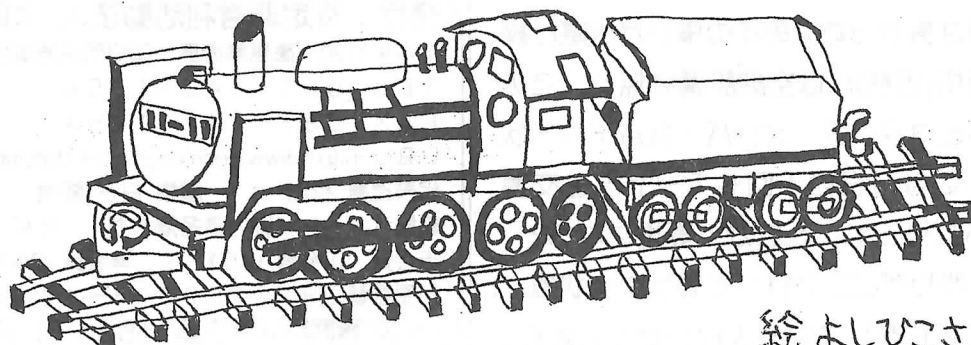


絵 走川くん



絵 工藤くん

C57 180 SLばんえっ物語号



絵 よしひこさん

熱い思い

来田 太

あの熱い思い

忘れて

繰り返しの毎日

ただ 繰り返しの毎日

ためぐち機関銃のように

ほざいて 周り見えなくて

自分のことばかり

そんな毎日 冷めた毎日

送りたくないですね もう

だって

その繰り返しの毎日には

頑張って ふんばって

不器用にやってるやつに

失礼ですから

気持ちは若くありたい

ありのままに

ごまかし続けて来た自分に

性格悪い自分と

顔を上げて

向き合いたいから

胸を張れる自分になりたい

自分に負けないために

編集後記

今年の夏は暑かった。毎年の事だが太陽と緑の会の作業所(店舗)には空調設備は無く、この時期になるとスタッフ、メンバー共バテバテ状態になり中には一日に十回もTシャツを交換する人もいたりして、とにかく夏場になると、店内、店外問わずどこに行ってもサウナ状態で、もしダイエットをしている人がいたとしたら、

逆にうってつけの環境かもしれない。これは当たり前前の話だけど、地球も年々温暖化が進み、これから先も毎年平均気温も上がっていくことだろうし、それを考えただけでもゾッとするけど、これは無理な話かもしれないけど、少しでも多くの人が夏場に出来る範囲でいいから、エアコンの使用を抑えることで地球の温暖化を少しでも遅らす事は出来る。(まあ、無理かな！昔と違って今は冷房は人間の生理的欲求の一部になってるんで)でも、出来る出来ないは別として、そういう意識を個人個人が持つことで、地球を壊さない優しい未来が生まれるんじゃないかと私は思う。

(NPO)太陽と緑の会は環境問題にも取り組んでおり、当然、地球温暖化防止も考えているので、夏場はとにかく暑い。そんな環境の中、夏の暑い時でもタオルを首にぶら下げ、店舗に買い物に来てくれるお客さんも少なくない。この場を借りて「暑い中、当会へのご協力有難うございます」と言いたい。

文 白石

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

太陽と緑の会は、人も物も活かされる社会の実現を図るため、リサイクル活動、障害者の自立支援、ボランティア育成、及び国内外の各分野で活動する個人 団体との連携 協力などに関する事業を有機的に行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする「特定非営利活動法人」です。

リサイクル文化社会を創りつつ、そこが障害を持つ人々の働く生きがいの場とに国内外の団体等を支援する、という有機的な活動を目指しています。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延字小原 107-1

TEL 088-643-1054

FAX 088-642-1054

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>

代表理事 杉浦 良 編集 白石 隆信

編集サポート(協力者名簿入力) 木村 有理子

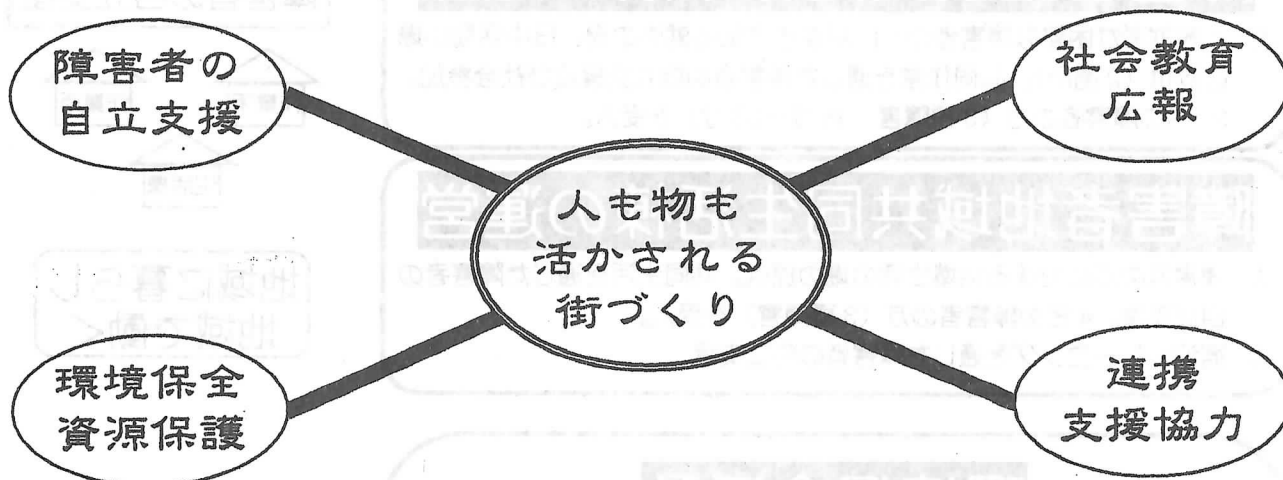
年会費：正会員 10,000 円 準会員 1000 円

郵便振替口座：01620-8-44703

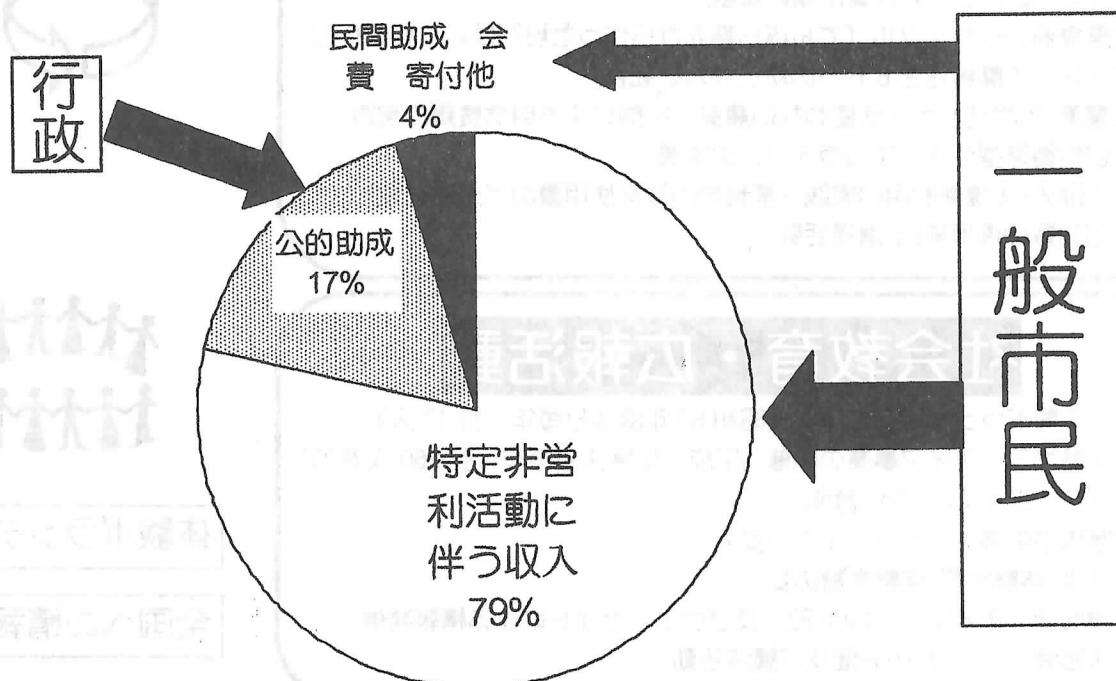
※この機関誌は再生紙を使用しています。

太陽と緑の会は民間非営利団体です

①分野の枠組みを超えた社会貢献活動を行っています。



②一般市民によって支えられています。



《収入の内訳》

③特定非営利活動法人として活動しています。

《構成》（平成 15 年 11 月 1 日現在）

理事 6 名 監事 1 名 市民サポーター約 9000 名（うち正会員 46 名 準会員 217 名）

専任職員 8 名（うち 2 名は理事兼務、1 名は事務局長） 青年長期ボランティア 1 名 ボランティア 30 名
様々なハンディを持ったメンバー 27 名

社会貢献活動

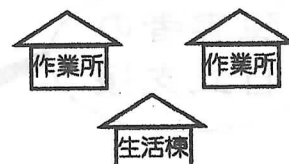
障害者地域共同作業所の運営

- ① 一般就労が困難な障害者の方に対する福祉的就労の場、日中活動の場の提供（2箇所）。共同作業を通じた障害者の自立支援及び社会参加。27名の障害者の方（3種障害 18才～53才）を受入。

障害者地域共同生活棟の運営

- ① 障害者の方に対する地域生活の場の提供。共同生活を通じた障害者の自立支援。4名の障害者の方（3種障害）を受入。
- ② 宿泊トレーニングを通じた障害者の自立支援

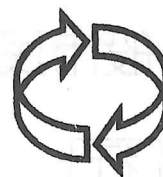
障害者の自立支援



地域に暮らし
地域で働く

環境保全活動

- ① 不用品 資源ゴミのリユース リサイクル（年間 6000 件、1000 トンの不用品回収。年間 2000 台の廃棄自転車のリユース。ゴミの減量および行政のゴミ処理費削減に貢献）
- ② 廃食油のリサイクル（てんぷら廃油から作った粉石けん）（4000 リットルの廃食油を 6 トンの粉石けんに転換）
- ③ 農業 化学肥料を一切使わない農業、平飼による自然養鶏の実践
- ④ 自然循環型生活（エコライフ）の実践
- ⑤ 太陽光 太陽熱利用の実践（事務局の電気使用量の半分を発電）
- ⑥ 河川敷の環境美化 清掃活動



循環型社会の構築

社会教育・広報活動

- ① 1年間ボランティアの受入（昭和 63 年度より毎年。計 17 人）
- ② 体験ボランティア事業の開催（平成 2 年度より毎年。計 250 人参加）
- ③ ボランティアの受入 育成
- ④ 県内の中高生ボランティアの受入
- ⑤ 見学 体験実習 体験学習の受入
- ⑥ 機関誌（年 6 回 各 1500 部）及びウェブサイトによる情報発信
- ⑦ 研修会 イベントの開催及び講演活動



体験ボランティア

全国への情報発信

連携・協力及び支援活動

- ① 助成活動（10 年間で計 583 万円を助成）、カンパ、物資の無償提供
- ② 徳島県内外の障害者地域共同作業所との連携 協力及び支援
- ③ 国内外の民間非営利団体（NPO）との連携 協力及び支援
- ④ 研修会等への参加
- ⑤ 国際協力及び交流



助成活動

作業所 NPO との連携

あなたのサポートが社会を変える

「NPO法人 太陽と緑の会」は一般市民の皆様方のご支援、ご協力によって支えられている市民活動団体です。昭和46年の設立以来、様々な非営利活動に取り組んでまいりました。様々なハンディを持った人が地域で暮らし、働くことのできる街づくり、物を大切に作る街づくり、ボランティアが育つ街づくり、「人も物も活かされる街づくり」を目指して活動しています。

これからは市民が社会を作り、動かしていく時代です。源流のひとしずくの水が大きな川となるように、一人一人のささやかなサポートが集まって社会を変える大きな力となります。

「ちょっとNPO」「どっぷりNPO」「普通にNPO」様々な関わり方があっていいと思います。一步を踏み出してみませんか？

あなたにもできる8つのサポート

①会員（正会員 準会員）

正会員は特定非営利活動促進法上の「社員」に相当し、通常総会での議決権を有します。年会費は1万円です。ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

準会員は年会費1000円で、通常総会での議決権はありません。年会費の納入により準会員となります。

会費の納入を郵便振替でされる方は下記口座にお振込み下さい。

＜口座番号＞ 01620-8-44703

＜加入者名＞ 特定非営利活動法人 太陽と緑の会

②ボランティアとして活動に参加

ちょっと活動をのぞいてみませんか。外から見た太陽と緑の会の活動と、実際に体験してみるとのでは、ずいぶん見え方が違います。「リサイクルを体験してみたい」「ハンディを持ったメンバーと接してみたい」といったことでもかまいません。新しい体験と個性的なメンバーがあなたの参加をお待ちしています。

特に必要な技術はありません。関心のある方は事務局までご連絡下さい。

③リユース可能な不用品の提供

④リユース品の再利用

太陽と緑の会のリサイクル活動は、不用品を提供して下さる方とリユース品を再利用して下さる方のご協力によって成り立っています。ひとつでも多くの物が、物としてリユース、もしくは資源としてリサイクルされることを目指しています。

⑤カンパ（寄付）

郵便振替でされる方は下記口座にお願い致します。

＜口座番号＞ 01620-8-44703

＜加入者名＞ 特定非営利活動法人 太陽と緑の会

⑥活動の広報への協力

⑦場所、技術、情報、知識の提供

⑧当会の活動に関心を持つ

リサイクル活動のご案内

回収

不用品をご自宅まで引き取りにお伺いします。
まずはお電話（０８８－６４２－１０５４）をお願いします。お名前、ご住所、ご連絡先、品物をお聞きしてカードに登録し、お伺いする日時が決まり次第、当会からご連絡させていただきます。なお、お伺い可能な時間は 10 時～16 時です。

持ち込み

不用品を当会へ直接お持ち下さる場合は、活動時間内をお願いします。定休日、休み期間中はご遠慮下さい。

持ち込み先：NPO 法人太陽と緑の会（徳島県徳島市国府町南岩延字小原 107-1）（機関誌の最後に地図があります）

●不用品はすべて無料引き取りです。

買取、有料のゴミ処理は致しません。

●家電リサイクル法対象品、大型家具のお持ち込みはご遠慮下さい。

製品保証

電化製品及びストーブについては、動作テスト及び整備を行った上で、1ヶ月間の保証期間を設けています。

保証期間中、通常の使用をされていて何ら過失がなかったにも関わらず故障した場合には、返金させていただきます。保証期間経過後の返品はご遠慮下さい。

現状渡し

電化製品等で「現状渡し品」として陳列する物もございます。これは正常な動作を保証していないため、価格を安くする反面、製品保証の対象外となります。

また在庫処分目的で「処分特価品」として通常価格より安く販売しているものについても製品保証の対象外です。

ご購入後の返品、交換は一切お受けできませんので、お客様の自己責任でご購入下さい。

修理

当会では修理技術者が限られており、不用品の修理で手一杯のため、修理のみのご依頼はお受けしておりません。

配達

配達料金はトラック一車分で、徳島市内 1000 円、徳島市外 2000 円～（ピアノなどの大型商品は別途頂きます）となります。また配達時間は 10 時～16 時となります。

配達可能地域

徳島市、鳴門市、北島町、松茂町、藍住町、板野町、上板町、那賀川町、羽ノ浦町、佐那河内村、小松島市、石井町、鴨島町、吉野町、土成町、川島町、山川町

リユース困難なため、お引取りできないもの

*しみ、破れのある寝具、木製シングルベッド、（セミ）ダブルベッド、エレクトーン、オルガン、応接セット、ソファ、ベッドのマットレス、ケース入り人形、旧式マッサージ機

*MS-DOS以前のノート型パソコン、CRT一体型パソコン、デスクトップ型ワープロ、旧式木製ステレオ、動力ミシン、エアコン（ウィンドウエアコンは可）は、タイヤ、一升びん、ビールびん以外のびん類

*テレビ、冷蔵庫、洗濯機、デスクトップ型パソコン本体、パソコン用ディスプレイについては、当会の基準により、お断りする場合もございます。

*上記以外でも傷みの激しいもの、パーツの欠品があるもの、修理不可能なもの、運搬が困難なもの、その他リユースの可能性がほとんどないもの、は引き取りできない場合がございますのでご了承下さい。

てんぷら廃油から作った 粉石けん

3 キロ 700 円 (洗濯 100 回分)

市民の方々から回収したてんぷら廃油を滋賀県大津市にあるマルダイ石鹸さんにトラックで持ち込み、粉石けんを作って頂き、持ち帰って販売しています。

この粉石けんを使うと……

- ① 廃油を川に流さずにすむ
- ② 安全性が高く、生態系への負荷も少ない

ほとんど実費に近い価格です。小さなお子様がいるご家庭でも安心して使えます。太陽と緑の会で販売していますので、一度お試し下さい。

自転車バザー

(毎月第 4 日曜日)

時間：午前 11 時～午後 3 時

(雨天決行)

場所：近藤整形外科裏の駐車場

(機関誌の最後に地図がございます)

引き取り手がなく廃棄処分となった放置自転車(徳島市より提供)及び市民の方々から回収した自転車を修理再生したものを 3000 円～8000 円(修理実費より安い!)で提供しています。自転車屋さんと同水準の整備を行っていますので、安心して乗って頂けます。

月の宮作業所で作った 無農薬野菜&卵

月の宮作業所の畑で作った無農薬の野菜と平飼い自然養鶏のニワトリが産んだ有精卵を安価で販売しています。

月の宮作業所の畑は、もともと山だった所を切り崩し、堆肥を使った土作りを 10 年以上かけて行ったもので、農薬、化学肥料を一切使っていませんので、安心して食べることができます。

お問い合わせ

NPO法人 太陽と緑の会

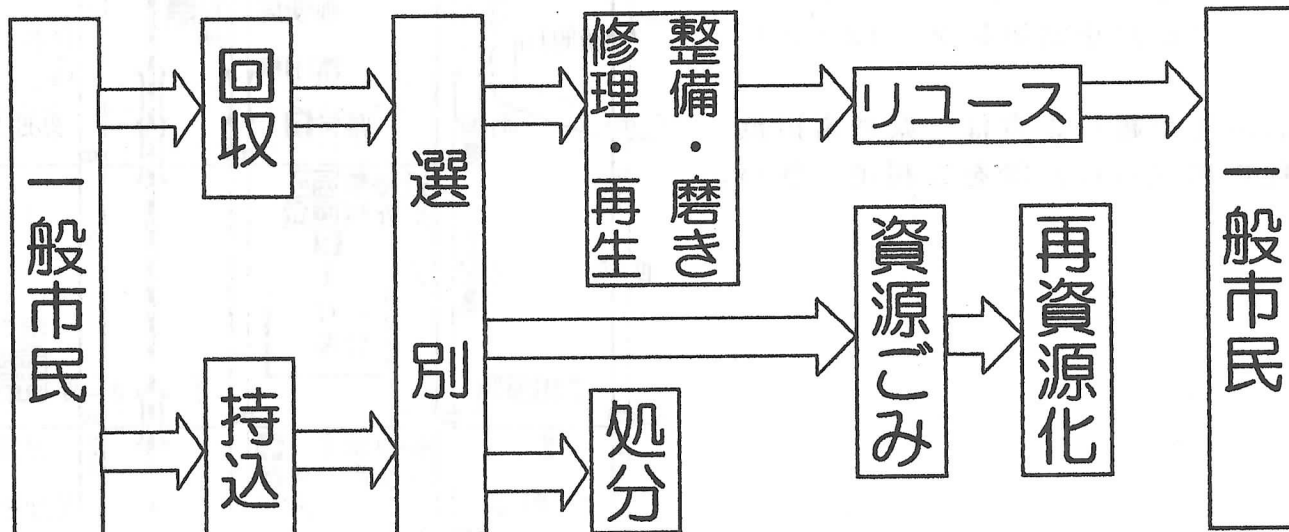
活動時間 10時～18時

(月曜日は 17 時 30 分まで)

定休日 毎週水曜日

電話・FAX 088-642-1054

リサイクルの流れ



事務局

リサイクル作業所

車：中鮎喰橋西詰の信号を曲がって
すぐの土手下。下り口に赤の
看板あり。駐車場満車時は土手
沿いの駐車スペースへ。

バス：「岩延」（日開経由竜王団地
覚円行きバス）から徒歩3分
「上鮎喰」から徒歩20分

JR：鮎喰（あくい）駅から徒歩15分

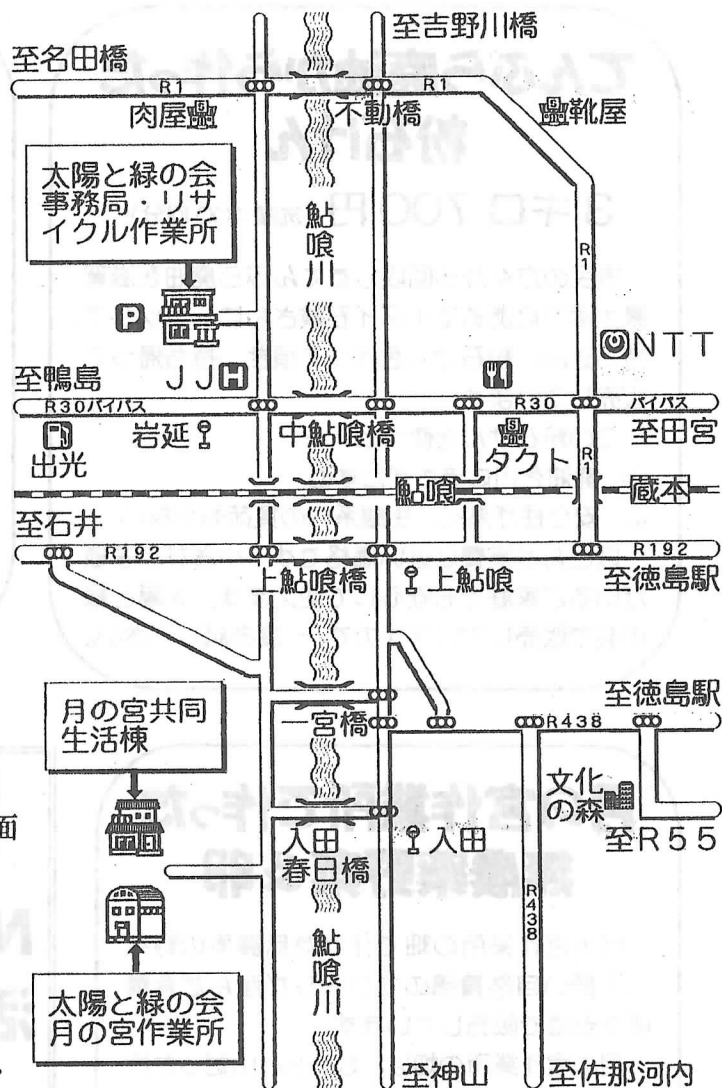
★活動時間内ならいつでも来所可

月の宮作業所

月の宮共同生活棟

バス：「入田（にゅうた）」（神山方面
行きバス）から徒歩15分。
入口に看板あり。

★来所見学を希望される方は、事務局
（088-643-1054）までご連絡下さい。



自転車バザー会場

場所：近藤整形外科の裏の駐車場
（徳島市富田浜2-12-2）

★お車でお越しの方は、県営富田浜
駐車場（有料）等をご利用下さい。

